

広報

あしや

1992年 5月15日号
(平成4年)

No.612

毎月1日・15日発行

発行/芦屋市役所(公聴広報課)

☎0797-31-2121

〒659 兵庫県芦屋市精道町7番6号



5/24 ふれあい市民運動会

ふれあいの輪を 広げませんか

障害というハンディを持つ人・持たない人、そしてボランティアの人が一緒にあって、身体を動かして、楽しむ「障害者とのふれあい市民運動会」も今年で五回目を迎えます。

参加者も年々増え、「ふれあい」の持つ意義が広く市民のみならず、理解され、この運動会が定着してきたようです。

大きな口を開けて、竿につるしているパンに飛びつくパン食い競争や、顔が真っ白になってしまうアメ食い競争、健常者も参加して車椅子で一生懸命走る混合リレー、そのほかにも運動会ではおなじみの紅白玉入れや、紅白綱引きなど、盛りだくさんの内容です。

そしてファイナーレは、参加者全員が手をつないで、一つの大きな輪をつくり「手のひらを太陽に」の大合唱。まさに、みんながふれあい、一体となる感動的な一日です。

今年「国連・障害者の十年」の最終年です

市では、障害者の「完全参加と平等」をテーマに、障害を持つ人が積極的に社会参加し、生きがいのある活動ができる「障害者の住みよいまち」づくりを進めてきました。

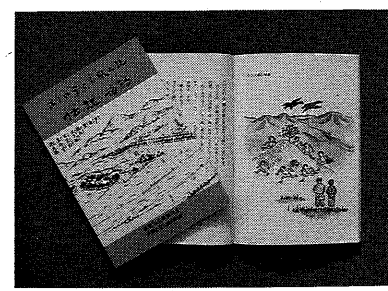
「あしや子ども風土記 伝説・物語」の頒布

あしや子ども風土記シリーズのひとつとして、新しく「伝説・物語」が発行されました。小学生の児童にも親しめるよう、ふりがなや挿し絵・写真なども多く取り入れたものになっています。

伝説や物語には、当時の人びとの願いや考えなどがよくあらわれています。希望のかたは下記のとおりご購入ください。冊数に限りがありますので、品切れの場合はご了承ください。

内容	芦屋沖の竜灯・打出沖の海鳴りなど16話(60頁)
発行格	平成4年3月
発価格	400円
購入方法	〈頒布場所〉 美術博物館および谷崎潤一郎記念館受付 〈郵送の場合〉 代金400円と送料210円を現金書留で美術博物館(伊勢町12-25)へ送付 美術博物館(☎38-5432)

問い合わせ



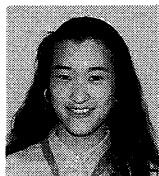
学生親善使節決まる

小西さんと西園寺さんに

本市の姉妹都市であるアメリカ合衆国モンテペロ市への、第二十九回学生親善使節が、小西春樹(こにしはるき、朝日ヶ丘町、甲南大学)さんと、西園寺麻子(さいおんじあさこ、東芦屋町、関西学院大学)さんに決まりました。

小西さんは「今までメディアを通してしか知り得なかった外国に直接接し、両市の親善に役立てたい」と、また、西園寺さんは「親善使節として選ばれたからには、もっと日本と米国のことを学び、両市民の期待に添えるよう、精いっぱいがんばりたい」と抱負を述べています。

二人は七月下旬から約一カ月間、モ市の一般家庭に滞在し、市長表敬訪問や、パレードほか数々の交流会に参加して両市の友好を深めます。



西園寺麻子さん
小西春樹さん

帰国後は、市や姉妹都市協会が主催する事業などに参加し、地域の国際交流活動の輪を広げます。

ホストファミリー募集

モンテペロ市からの学生親善使節のお世話をしてくださる家庭を募集しています。

学生は七月中旬から約一カ月間市内に滞在し、一週間単位で各家庭にホームステイします。

申し込みは、五月二十九日(金)までに、芦屋姉妹都市協会事務局(国際交流課内、☎2008)へ。

三条公園が完成しました

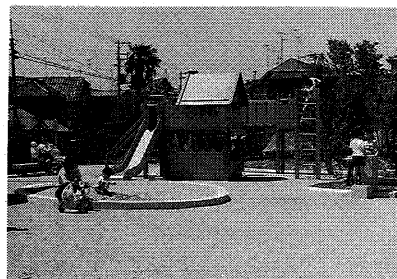
平成三年度から施設整備を進めてきた三条公園(三条町八番)が、このほど完成しました。

この公園は、面積が約千三百五十平方メートルで、ベンチやパーゴラのほか、すべり台やぶらんこなどの遊具もそなえた「市民にこいの公園」として造られたものです。

四月二十九日(水)の「みどりの日」に、完成を記念して、「三条の自然と環境を守る会」から寄贈されたケヤキで植樹式がおこなわれました。

さわやかな季節、遊びに、憩いのひとときに、新しい三条公園をご利用ください。問い合わせは公園緑地課(☎2065)へ。

子どもたちもうれしそう



ひとこと



——近一年、遊ぶところがなくて困っていましたが、この公園ができてとても喜んでいました。きれいな公園を、いつでも大切に使いたいですね。
三条町 滝口和子さん



芦屋市の人権シンボルマーク

“人権は 親子の仲にはないのかな 僕の人生 母が左右す”

(矢野壽男編『親を見りゃ僕の将来知れたもの』から)



子どもの笑顔があふれるまち

この詩の「親子」と「母」の部分、父とか教師とか友達に置き換えてみますと、何気ない日常生活のなかで、いかに子どもの人権が粗末に扱われているかが分かります。

素朴に考えれば、人権というのは、「他人を傷つけない、不幸にしない、意に反して強制しない」事ではないでしょうか。

太っている子にブタといったり、動作が鈍い子にグズ・ドジとかからかったり、えいじ君をエイズとあだ名で呼んだり、無神経な言葉で傷つけられている子どもたちは、笑ってごまかしてはいいても、内心では「いいかげんにやめてくれ！」と悲鳴をあげているのです。

楽しみに遊んでいる仲間に入っていないこと、陰から眺めている引つ込み思案な子ども、本心では一緒に遊びたいのです。友達か「学校に行こう」と誘いにくても、部屋に隠れて閉じこもってしまう不登校の子ども、心の中では「行

近年、社会の急激な変化にもない、核家族化や出生率の低下現象がみられる中で、子どもの育て方についても、さまざまな問題が論議されています。子どもの人格を重んじ、幸福をはかることを願って制定された「子どもの日」と「憲法記念日」のある今月、各方面で活躍しておられるかたがたのご意見を聞いて、もう一度、子どもの人権について考えてみましょう。

一昨年、初めて宮川コミスクの運動会に参加しました。地域の子どもは少ないとばかり思っていました。が、「こんなになくさんの子どもがいるのなら」、また「みんなが手伝う」ということで、休会状態の子どもも活動を再開させることができました。

ハイキングなどの活動をしました。が、その中で海技大学のご好意で場所を貸していただいたお餅つきは特に盛りあげました。子ども、海技大学のフイビンやインドネシアからの留学生そして地域の父母が心の交流を願ってつたため、日本一のおいしいお餅ができたと思っ

小学生から中学生になると、どうしても活動から離れてしまいがちですが、中学生になっても続けてほしいし、高校生や大学生になれば、子どもたちのリーダーとして子ども会の世話などもしてくれることを期待しています。

また、留学生との交流で気付いたことなのですが、地域には核家族化により一人暮らしの高齢者の方々もおられますので、今後の活動の中で交流が実現できれば、もっと素晴らしい子ども会活動になるのではと考えています。(会長・塩川吉美)



ゲーム遊びなど室内で過ごす時間が多くなつたことにより、地域社会における子ども同士のコミュニケーションは以前と比べ少なくなつてい

そうした中で、一人ではできないことを共同で乗り越えることの喜びを知る。その一つとして、子ども会活動やスポーツを目的とした団体の役割は大切なものです。

現在の豊かといわれている日本社会の繁栄は、幸せな子どもたちを想像しがちです。しかし現実には、なんらかの理由から心に傷を受けて暮らしている子どもたちがいることも忘れてはならないと思います。

二十一世紀は、環境、平和そして人権が大きな課題だと考えられています。すべての子どもたちの幸せを願い、素晴らしい自然と平和、お互いの人格が尊重される社会を、次代の世紀を生きる子どもたちに引き継ぐことが、いまを生きる大人の責任であり最高の贈物ではないでしょうか。

子ども会から地域・国際交流も 西蔵町二丁目子ども会

五年前、潮見少年サッカークラブが発足し、最初は試合の変にボロ負け。あまりの屈辱の大敗に、「勝つことばかりに心が動いており、そののみを目的としているようなチームと出会い、ハツと気がつきました。「子どもたちのために勝たせてやりたい」と思いながら、心の奥底では自分の満足のために勝たがっているのではないかと、疑問をもつようになったのです。

それ以来、子どもたちの指導者として、成長期の子どもの体に無理な負担がからないうよう練習内容や時間の配慮をし、のびのび楽しく子どもたち自身で考えるサッカーとなるよう留意しながら指導に当たるようにになりました。さらに、心の教育に、毎年子

どもたちのお年玉の一部を出しあつて、インドの子どもたちになにか役立つプレゼントを送るなども続けるようにしています。

私は、このクラブを通して健康で集中力や創造力があり、思いやりとチームワークを大切にする心をもてくれたらと思っています。

昨年の秋、六年生が県大会に出場しました。この時、途中まで負けていた試合を逆転し、念願の一勝を果たしました。この様子をベンチで見ていた五年生の少年は、「この試合で、どんなに離されていてもあきらめてはいけない」という心を感じました。熱い汗が肌を伝いながら、涙を流して喜びました。

在日韓国人三世である私の三人の子どもたちは、幼稚園入園時から韓国名である。私の友人は日本人・韓国人を問わず、決まって「不安はなかったか?」と尋ねる。私は強気に、「別に」と答えることにしている。

学校が大好きで少しのんびりやな子どもたち。韓国人であるがための心無い言葉に傷つきながらも、元気に明るく振る舞う子どもたち。「韓国人に生まれて嫌が私の言葉に、別に。どこの国でも一緒」と軽い乗りで応える三人の子どもたち。

教室で、在日韓国人が隣りの席に座っていることを知らない日本人の子どもたち。韓国人が日本に在住している歴史の経緯に触れず、それ故に歴史認識を共有できない教育の現状。子どもたちの成長に必要なのは、親の庇護でなく周りの友達との関係であ

良き隣人との混在を 茶屋の町 殷宅基 (ウン テッキ)



思いやりとチームワークを 潮見少年サッカークラブ

平和祈念事業特別基金では、戦後、旧ソ連またはモンゴルの地域において強制抑留された方、またはそのご遺族に内閣総理大臣名義の慰労品(書状・銀杯)を贈呈しています。年金恩給や公務員の共済年金などを支給されていない方には、さらに慰労金(10万円)が支給されます。請求期限は平成5年3月31日までです。問い合わせは、平和祈念事業特別基金業務第2課(☎03-3945-4703)へ。

5月21日から31日は家内労働者間です 家内労働者に業務を委託される方へ

4月30日から電気機械器具製造業の最低賃金の一部が変更になりました。詳しくは、兵庫労働基準局(☎078-332-7020)へ。

ご・あ・ん・な・い

募集

【第10回ひょうこの花と緑のコンクール】
●応募対象…家庭緑化、学園緑化、職域緑化、コミュニティ緑化 ●申し込み方法…写真8枚添付 ●期限…9月30日 ●問い合わせ…緑化協会(☎38-2103)

作画コンクール

●資格…自由 ●用具…自由(版画、はり絵、パッチワーク等も可能) ●大きさ…27×38センチ～29.7×42センチ ●テーマ…楽しい「まち」住みたい「まち」 ●締め切り…5月29日(金) ●提出先…兵庫県都市住宅部都政課(神戸市中央区下山手通5-10-1、☎078-341-7711)

お知らせ

【女性の諸問題に関する意識調査実施】
今後の女性行政をすすめるために、女性問題への関心度、就労、福祉、教育などについて意識調査を行います。調査票が届いた方は、ぜひご回答ください。
●期間…5月20日(水)～6月8日(月) ●対象…市内在住の満20歳以上の男女個人1500人 ●調査方法…郵送による配布、回収 ●問い合わせ…市長室女性対策担当(☎38-2007)

市民相談をご利用ください

毎週月曜日朝9時から受付。(電話予約制)ただし、人権・行政相談は、随時受付。
●家事相談(毎週水曜日、13時～)
●法律相談(毎週木曜日、13時～)
●人権相談(第2、4火曜日、13時～)
●行政相談(第3火曜日、13時～)
問い合わせは、生活文化課(☎38-2007)へ。

市民会館指定団体の申請

公共性の高い活動を行う団体には、市民センターおよび地区集会所の使用料を一部免除しています。継続・新規の指定を希望する団体は、6月10日(水)までに市民センター総務係(☎31-4995)へ。

芦屋さつき花季展示会

●日時…5月23日(土)閉会式10時(参加者にさつき苗進呈)～31日(日)、ただし屋内会場は26日15時まで ●会場…ラポルテ空中回廊広場・ラポルテホール ●問い合わせ…経済課農林係(☎38-2033)

さつきの花後の手入れ(せん定・植え替え)の仕方教えます

●日時…5月27日(水)・29日(金)の午前中 ●会場…緑の相談所(若葉町1-1) ●費用…無料(鉢持参のこと) ●問い合わせ…緑化協会(☎38-2103)

グラウンド・ゴルフ講習会

●日程…①川西会場、6月13日(土) 体育館・青少年センター会議室、川西運動場 ②岩園会場、6月27日(土) 岩園小学校グラウンド ③芝生会場、7月4日(土) 中央公園芝生広場、時間はいずれも14時～16時 ●定員…50人(先着順) ●対象…市内在住・在勤・在学(小学3年生以上で保護

者同伴) ●費用…無料 ●申し込み…受講希望会費を記入のうえ体育館・青少年センター体育係(☎31-8228)へ。

【図書館の特別休館】
蔵書点検のため5月26日(火)から6月9日(火)まで休館します。打出・大原分室も休室します。公民館図書室・上宮川文化センター図書室は5月26日(火)から6月4日(木)まで休室します。問い合わせは図書館(☎31-2301)へ。

同和問題講演会「人権高座・新ちやんの勇気と元気のてはなし」

●日時…5月20日(水)13時30分～15時20分 ●会場…市民センター401室 ●講師…落語家・露の新治氏 ●問い合わせ…芦屋市同和教育協議会(☎31-2121内線3267)

仲ノ池緑地の用地買収について

自然生態観察公園として事業を実施中の仲ノ池緑地について、「簡易生命保険積立金還元融資事業」により、芦屋市土地開発公社から平成3年度分の用地買収が完了しました。問い合わせは、公園緑地課(☎38-2065)へ。

国の行政機関は、今年5月から全土曜日が休みになりました

公共職業安定所も全土曜日が休みになります。問い合わせは、西宮公共職業安定所(☎0798-71-3721)へ。

「点字広報ひょうこ」「声の広報・愛の小箱」のご利用を

県では、点字による広報誌「点字広報ひょうこ」とカセットテープによる広報誌「声の広報・愛の小箱」を毎月1回発行しています。ご希望のかたは、県広報課(☎078-362-3019)へ。

戦後強制抑留者の方へ

平和祈念事業特別基金では、戦後、旧ソ連またはモンゴルの地域において強制抑留された方、またはそのご遺族に内閣総理大臣名義の慰労品(書状・銀杯)を贈呈しています。年金恩給や公務員の共済年金などを支給されていない方には、さらに慰労金(10万円)が支給されます。請求期限は平成5年3月31日までです。問い合わせは、平和祈念事業特別基金業務第2課(☎03-3945-4703)へ。

5月21日から31日は家内労働者間です

家内労働者に業務を委託される方へ

4月30日から電気機械器具製造業の最低賃金の一部が変更になりました。詳しくは、兵庫労働基準局(☎078-332-7020)へ。

納期

- 法人市民税・事業所得税(3月決算法人)
- 軽自動車税(5月1日～6月1日)
- 自動車税(兵庫県西宮財務事務所)

今月が納期です。忘れずに期限内に納めましょう。納付には便利な口座振替をご利用ください。

いきいき人生80年 @ 寝たきり寝かせきり

ぬくもりのある福祉社会をめざして

高齢者はちょっととした病気でも寝込んでしまいます。筋肉の力が衰え、起き上がる意欲もなくなつたりで、本人も介護者も楽なので、つい寝かせきりにしがちです。でも、この寝かせきりが、肺炎・床ずれ・ボケなど様々な病気を併発させるのです。

四月十三日、ルナ・ホールで行われた芦屋ハートフル福祉社社設立記念シンポジウムで講師の大府立大学教授・大園美智子さんは、参加者に脳卒中になつて体半分動かなくなつても、寝たきりにならないで済むと思つていかたと問いかれましたが、みんな「体」の半分が動きさえすれば、人間はそれで立ち上がることができることを信じてください。体半分立てるだけの力を日ごろから訓練してください。力こめて話されました。ある介護士でリハビリの効用を説かれました。毎日三分間、三回も、ベッドから起き上がり、端に腰掛け床足を下ろすことを続けていけば、縮んでいた背筋が伸び、頭が明晰になっていく。

「ねたきり」は、寝かせきりから作られる過度の安静逆効果(厚生省「寝たきりゼロ」への10か条第2条)

ミュージアムコンサート

～ピアノとバイオリンのタベ～

6/12(土) 18:30開場 19:00開演

美術博物館ホール 無料(要整理券)

プログラム
ピアノ独奏・横井和子(大阪芸術大学客員教授)
シューマン作・アラベスク作品18/子供の情景作品15
バイオリン独奏・小栗まゆみ(相愛大学教授)
貴志康一作・竹取物語/漁夫の唄

【申し込み】往復はがき(1枚で2人申し込み可)に住所・氏名・年齢を記入し、5月25日(消印有効)までに下記へ。抽選で200人をご招待します(6月上旬発送) <芦屋市伊勢町12-25 市立美術博物館 ☎38-5432>

災害時の避難場所

万一のときのため近くの避難場所を確認しましょう

<JR以北の地区> 芦屋ユースホステル/芦屋大学附属高等学校/市立芦屋高等学校/朝日ヶ丘小学校/山手小学校/岩園小学校/西山幼稚園/山手中学校/三条小学校

<JR以南～阪神以北の地区> 上宮川文化センター/市民センター/小穂幼稚園/体育館・青少年センター/県立芦屋高等学校

<阪神以南の地区> 精道中学校/精道小学校/宮川小学校/海技大学/打出浜小学校/浜風小学校/潮見小学校

問い合わせは、消防本部警防課防災担当係(☎38-2097)へ。

こちら消費生活センターです

経済課内 ☎38-2034

芦屋市消費生活モニターが、たまご、じゃがいも、大根、キャベツ、牛肉、豚肉、鶏肉、牛乳、砂糖、しょう油、サラダ油、マヨネーズ、小麦粉の小売価格を調査しました。左図は、12店舗を1月13日の平均価格で比較して、価格の低い第5位までを表しています。暮らしの参考にお役立てください。

市場△スーパー□まほろその他
平均価格が低かった店舗

芦屋川
阪神芦屋駅
打出駅
宮川
JR芦屋駅

市内店舗の物価調査から1月～3月の平均

＝芦屋市子育てセンター・オープン＝ 21世紀を担う子どもの成長を願って

開設によせて

芦屋市生涯学習推進懇話会委員・小児科医
京極 正典

芦屋市に子育てセンターができるという話を聞いて、これは素晴らしい企画だなあ、というのが、最初の印象でした。

教育長はじめ関係者の皆さんを中心に着々と計画が進行しているのを見て、芦屋市の行政のムードが少しずつ変化しているように感じました。その他にも、ハートフル福祉公社のオープン、休日診療所開設計画など、全国で初めての女性市長ならではのソフトな心くばりのあらわれかなあと思います。昨今、日本の出生率が年々低下し大きな社会問題となっており、子育て中のお母さんや家庭への経済的、時間的、精神的な支援制度づくりがさげばれています。

今までは経済的な支援が中心で、今回のような直接子育て中のお母さんに手をさしのべて相談にのるというソフトな対応は全く初めてのことです。私たちもできる限り応援し、お母さん方とともに育児を考えていこうと思っています。



芦屋市では、年間約八百余人の出生があり、就学前の子どもたちが約五千人います。この子たちの豊かな成長を願い、家庭教育の手助けをするのが、この度、開設しました芦屋市子育てセンターです。

人間の成長する過程には、乳児期、幼児期、児童期、青年期など発達段階でそれぞれの課題があります。乳幼児期は家庭における教育の最も大切な時期であり、この時期に生活全般を通して、善悪の判断力、欲望を自制する心、物を大切にすること、他人に迷惑をかけない、人を敬う心などが育つ時期であり、人間としての土台ができあがります。この時期に仕上げができれば、次の学齢期になっても、忍耐力、集中力に欠けたりして学校教育にも影響を与えます。

このたび、本市では二十一世紀を担う子どもの健やかな成長を願い、子育てセンターを開設しました。

● 芦屋市川西町十一番十号、精道幼稚園内 ☎8006

- 子育て相談(電話、出張相談もします)
- 子育て通信の発行
- 子育て講演会、講習会の開催
- 子育てグループの育成
- 子育てなかよし広場の開設

核家族、少子化の進む中で、誰にも相談できず、ひとり悩む母親のお手伝いをします。また、親と子が楽しく集える場としての子育てセンターをもめざしています。どうぞ、お気軽にご利用ください。



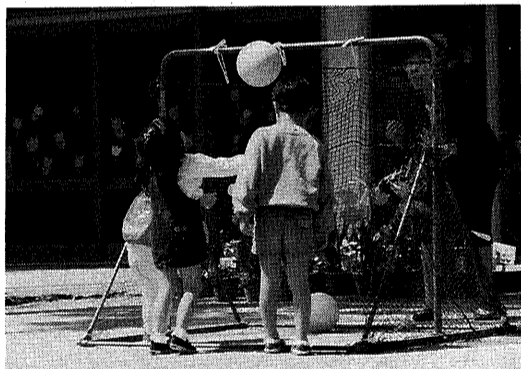
学校園ルポ1

育苗ポットが一五〇〇鉢

精道中学校

精道中学校の花壇には今を盛りとばかりパンジー、デージー等春の花々が咲き誇っています。赤、白等の色の配置も工夫され、花作りにかける学校の意気込みが感じられます。

精道中学校は平成三年度全国花いっぱいコンクール優良賞を受け、全国レベルでの評価を得ています。校務員さんが中心になり、生徒会や基礎学級(障害児学級)の子ども達も手伝って、一万五千鉢の花をイメージどおりに、一斉に咲かせるために頑張っています。



● 子育て通信の発行

● 子育て講演会、講習会の開催

● 子育てなかよし広場の開設

● 子育て相談(電話、出張相談もします)

このページは市教委で編集しています。内容についてはご意見・お問い合わせは、市教委社会教育文化課(☎2091)へ。



半田孝代



増田陽子

三人の子育てを終え、ほっとした気持ちと寂しさを味わっています。若いお母さんとともに再び子育ての楽しさを体験できることをうれしく思い、お母さんの手助けができればと思っています。

子育てセンターが、若いお母さんの交流の場、時には息抜き場として利用していただけるよう、気負わず、私も楽しみながら子育てセンターの事業を側面から支えるお手伝いができたらと願っています。

アドバイザー紹介

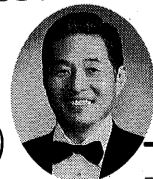
6th 安達治彦とステキに Swing Vanguard Jazz Concert

5月23日(土)

開演 P.M.6:30

料金 ¥3,000(前) ¥3,500(当)

(前売券売り切れの場合は、当日券は販売しません。)



安達 治彦
大塚善章 QUINTET

銅島 直飛

池田 定男

十川 尚子

TWINKLE

ルナ・ホールの催し

90年チャイコフスキー・コンクール優勝

ボリス・ベレゾフスキー ピアノ・リサイタル

6/6(土)

PM.6:30開演

PM.6:00開場

ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第11番

変ロ長調作品22

ショパン:12の練習曲作品25より

変イ長調、ハ長調、ホ短調、イ短調、ハ短調

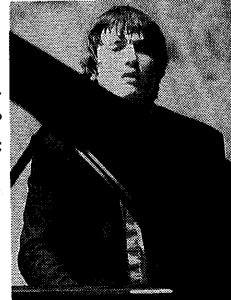
ブラームス:ピアノ・ソナタ第3番

ハ短調作品5

前売 4,000円

当日 4,500円

前売券売り切れの場合、当日券は販売しません。



この「広報あしや」を公演当日ご持参の方は、当日券を前売券料金扱いとします。※前売券が売り切れの場合は、当日券を発行しませんので、上記取り扱いは中止となります。

お問い合わせ
ルナ・ホール協会
業平町8-24
☎31-4962